

や農業振興、産業育成という大きな観点から責任を果たしたい。⑩今のところ考えてない。⑪身をきれいにして、明るい選挙にしたい。

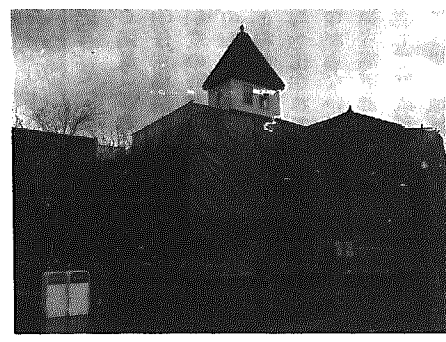
長谷川商工観光係長 ⑦収支計画によると、保証金の返済が始まる平成18年には約3000万円の資金が繰り越される予定である。

D議員 ⑧入札について、ガス水道局も指名委員長を変えるべきと考えるがどうか

浅妻町長 ⑨その方がいいと思うので、内部的に検討したい。

D議員 ⑩特産館について、安沢牧場の未納金があるが、回収見込みはどうなっているのか

長谷川商工観光係長 ⑪現在501万8000円が未納であるが、入金の見込みはなく、法的手続きをとると通告したと聞いている。



文化財指定解除の責任は

給与の減額処分

D議員 青木教育長の不祥事について ①今日までの経過、対応について ②懲戒処分とその額末

浅妻町長 ①関係各位と協議、相談等を通して解決に努力したが、最終的に満行寺の町文化財の指定を解除することになった。②町文化行政に混乱と多くの問題を生じたことや関係各方面に多大な迷惑をかけ、行政執行に疑惑を生んだ責任が大きいと考え、町長、教育長の給与の減額の処分とした。

D議員 ③文化財調査ではなく、視察である。結局調査になっていくが、調査と視察の違いについて ④教育長から7月に進退伺いがあつたがその内容は⑤文化財を解除したことによる経費の総額はどれ位か

青木教育長 ⑥悉皆調査は、専門の研究者の方にお願ひしているが、当町の文化財には知識がないので、第1回の調査は、調査の概要をつかむということで、視察という形をとった。

浅妻町長 ⑦謝罪をされ、いいようにしていただきたいと言われた。大矢社会教育課長 ⑧文化財審議委員会に1万5000円、調査費用に2万円、平成8年度作成時の要覧に15万8000円、文化財小冊子作成に21万1200円。

3%の減俸。平成8年3月定例会で黒埼町老人福祉センター条例等の問題により町民、議会に迷惑をかけ、給与3カ月10%の減俸。

F議員 ②任期中に合併が出来ないことについての責任は

浅妻町長 ③非常に慎重を期した中で遅れということご理解をいただいた。

F議員 ④新聞の記事で新潟市議会議員が合併出来ない責任は当町の議会であると言及していることについて

浅妻町長 ⑤任意協議会で建設計画に入るが、参考にして取り組みたい。

町民海外研修の経過は

好評を得た昨年と同様

F議員 町民海外研修の町のさまざまな計画について ①旅行者選定の経過と、その後参加者からの苦情とその対処方法について

浅妻町長 ②昨年は第1回で手さぐりの状態の中、社会的に信用がありノウハウを有している日本交通公社に選定したが、参加者から好評を得たので今年度も同社とした。また、参加者から航空機、視察先、費用面、自由行動などの意見があつたが、団長、副団長、旅行者と相談し対応した。

任期途中合併不可能の理由は

基本的制度の違い

E議員 町民を欺く町長の合併への取り組みについて ①町長の公約である任期途中の新潟市との合併で、不可能に至った本当の理由について ②合併建設計画に対する町長の無策について

浅妻町長 ③行政制度について、住民サービスを低下させないこと、住民生活に急激な変化をもたらさないことを基本として調整してきたが両市の基本的制度の違いから難航したのが大きな原因と考えられる。④行政制度の調整が終わらなければ、建設計画に入れないという取り決めが当町にあった。

E議員 ⑤第4次総合計画の遅れが、任意協議会の開催を遅らせる

F議員 ②今回の派遣は視察の目的から決定していったら、もっと充実した視察になったのではないかと

大久保企画係長 ③不十分な点もあつたので、これを教訓にし、次回に生かしたい。

F議員 ④適切な料金で、予算があれば枠を増やすと思うがどうか

浅妻町長 ⑤適切な料金で、大きな成果があげられる様検討したい。

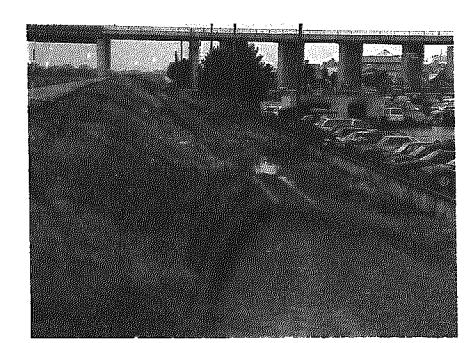
町民、議会を軽視しているのでは

F議員 特産館について ①町民、議会、更に株式会社特産館の取締役会決定事項などを無視し、軽視している町長の考え方について

浅妻町長 ②取締役会では会社の経営方針等についても協議をし、状況についても議会、担当委員会に報告し、最終的には取締役会の議を経て実行している。独断で物事を行っていない。

F議員 ③再建委員会の席上で町から3000万円の融資の話をしておきながら、新しいテナントと契約するなど、株主への配慮が著しく欠如していたのではないかと

浅妻町長 ④株主が知らないということはないと考える。



投票率低下の原因は

無党派層増加など

E議員 黒埼町の投票所の実態について ①選挙の度に投票率が低下する町内原因

浅妻町長 ②無党派層が増えていることや若年層の選挙離れ等が複合的に重なり合つて低下していると聞いている。

E議員 ③知事選挙、衆議院選挙、町長選挙、町議選挙の黒埼町に於ける投票率について

外川住民福祉課長 ④町長選は昭和60年、90・73%。平成元年、87・63%。平成5年、73・09%。町議会議員選挙は昭和62年、87・34%。平成

F議員 ③黒埼町のアンテナショップとして計画したものを経営不振を理由に町外業者に出店させるという本来の意向から外れる行為について ④町の出資金を他の町の業者の利益に利用する考えについて ⑤利用者のほとんどが自家用車であるにもかかわらず、飲酒を目的とした業者を出店させることについて ⑥町内の酒販店の数が制限されている現在、酒販店に説明も同意もなく出店させることについて

浅妻町長 ⑦大変遺憾であるが、黒埼町の枝豆の産地として貢献できるという考えである。⑧止むを得ない事情による。⑨倒産するか否かでとった止むを得ない措置と考え。⑩いろんな角度から検討した結果である。

原因ではないか ④役場職員には合併に向けての意欲が感じられないが、どの様に指導してきたのか

浅妻町長 ③第4次総合計画は、合併のためではなく町独自のことであるので関係ない。④合併することによって、黒埼がどう変わるかという認識を常に持つよう指導してきた。

E議員 ⑤やる気があれば、難しい問題ではないと考えるが、本心は反対なのか

浅妻町長 ⑥広域行政対策課を設置するなどして精一杯努力してきた。

任期中合併不可能の責任は

慎重を期したので

F議員 町長の不始末による度重なる減俸について ①過去の黒埼町長の減俸歴について

浅妻町長 ②昭和62年12月定例会で県道消雪パイプ施設工事に關し議会で説明不足があり、給与3カ月5%の減俸。平成7年12月臨時議会で黒埼町特産館等の問題により議事に迷惑をかけ、給与3カ月

交通問題の考えは

答申を基本に考えたい

G議員 場外舟券売場について ①アクセス道路及び交通問題についての考え方は②協定調印をなぜ急ぐのか

浅妻町長 ③検討委員会の答申を基本に関係機関の助言を得ながら対応を考えたい。④交通問題、青少年対策、防犯対策など許認可をいただかなければならない事項もある。協定を締結して、事業者に協議を行っていただくためである。

G議員 ⑤戸田競艇組合にアクセス道路は6mで良いといったのか

④協定、調印は一体的なものなのか

浅妻町長 ③許認可権は私にはない。④協定が即調印となる。

G議員 ⑤河川公園線は国道の拡幅に伴う緩和措置であるならば、国から工事を行っていただくのが筋と考えるが⑥現実論では交通問題をクリアしなければならぬが、協定調印の前に出来ないのか

浅妻町長 ⑦関係機関に十分話し合い、検討委員会の答申を尊重して行いたい。⑧協定調印を行うことにより解決できると考える。

G議員 ⑨舟券の開催を考えれば、河川公園線の16m道路が完成してから協定調印を行うのが良いと思うがどうか

後継者の育成は

引き受け手がなかった

G議員 町長選挙出馬について ①後継者の育成は出来なかったのか ②出馬に当たっての公約はどうか

浅妻町長 ③合併問題もあり、引き受け手がなかった。④新潟市との合併促進。自然と都市機能の調和した生活都市づくり。健康で快適な生活環境の構築と教育文化、産業の充実を行いたい。

G議員 ⑤前回の町長選挙では16名の議員をバックに再選されたが、その議員を説得していれば4年間で合併は出来たと考えるがどうか

浅妻町長 ⑥誤ったことが報道されたりして、みんな戸惑っていた。平和、安定なくして繁栄はないという考えである。

G議員 ⑦今回の選挙では8名の議員に推薦されているが、合併賛成をしていただくよう努力するか

浅妻町長 ⑧得たいと考える。